This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

(43) 1.7.1. (19) JP (11) 4-184870 (A) (21) Appl. No. 2-311271 (22) 19.11.1990

(71) MITSUBISHI PETROCHEM CO LTD (72) MAKOTO UE

(51) Int. Cl⁵. H01M6/16,H01M10/40

PURPOSE: To form electrolyte capable of showing fire-resistance while maintaining characteristic as a battery by using lower phosphoric ester consisting of a specific compound as solution or assistant solvent for electrolyte.

CONSTITUTION: Trialkyl phosphate represented in a formula I as lower phosphoric ester and monocyclic phosphate II and bicyclic phosphate III, where fellow alkyl groups are united mutually, are used as solution or assistant solvent for electrolyte. In the formulas, R₁·R₄ represents a straight chain or a branch alkyl group having the number of carbons 1-4, and R1-R3 can differ with each other. -(C)- represents straight chain or branch hydrocarbon, and (k), (l), (m) and (n) represent the number of carbons, and (k)=2-8 and (l), (m) and (n)=0-12 represent integers respectively. Thereby, solute of lithium salt is excellent in solubility, and is suitable for electrolyte of a lithium battery, and shows excellent fire-resistance.

$$\begin{bmatrix} R \cdot O - P = O \\ I \\ O R \cdot \end{bmatrix}$$

$$\begin{bmatrix} O & O & R \cdot \\ O & O & Q \end{bmatrix}$$

$$(I)$$

(1

(2 (7

(5

P

$$\begin{pmatrix}
 (C)_{a} - O \\
 (C)_{a} - O - P = O \\
 (C)_{a} - O
 \end{pmatrix}
 (III)$$

(54) BATTERY

(43) 1.7.1992 (19) JP (11) 4-184871 (A)

(21) Appl. No. 2-313379 (22) 19.11.1990

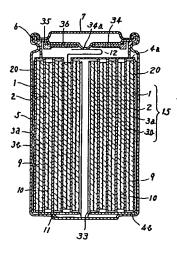
(71) SONY CORP (72) MASAYUKI NAGAMINE(1)

(51) Int. Cl⁵. H01M10/04,H01M10/40

PURPOSE: To improve battery characteristics in a battery having a a winding electrode body in a battery can by coating the outer peripheral surface of the

winding electrode body with a contractile tube.

CONSTITUTION: In a battery having a winding electrode body 15 in a battery can 5, the outer peripheral surface of the electrode body 15 is coated with a contractile tube 20 such as a thermally contractile polymer tube. Thereby, the electrode body 15 can be contracted uniformly in the diameter direction by means of the tube 20, and a constant pressure can be applied continuously to a negative electrode 1 and a positive electrode 2, and looseness of the electrodes can be prevented, and battery characteristics such as battery capacity and cycle life can be improved.



(54) NONAQUEOUS ELECTROLYTE SECONDARY BATTERY

(11) 4-184872 (A) (43) 1.7.1992 (19) JP

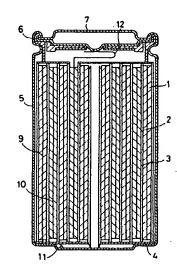
(21) Appl. No. 2-312481 (22) 17.11.1990

(71) SONY CORP (72) NAOYUKI SUGANO(2)

(51) Int. Cl⁵. H01M10/40

PURPOSE: To improve a cycle life in high temperature environment by using mixed solvent of propylene carbonate and diethyl carbonate as organic solvent for electrolyte in a battery in which compound metallic oxide containing Li is used as a positive electrode and a carbon material is used as a negative

CONSTITUTION: In a nonaqueous electrolyte secondary battery in which Li×MO2 (however, M represents at least one kind of Co, Ni and Mn, and (x) is 1 or 0.5) is used as a positive electrode 2 and a carbon material is used as a negative electrode 1, mixed solvent of propylene carbonate and diethyl carbonate is used as organic solvent for electrolyte. Mixing ratio of the propylene carbonate and the diethyl carbonate is desirable to be within range of 75:25-15:85. Thereby, an excellent cycle life, which has high energy density and is pollution free, can be obtained even in high temperature environment.



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

04184870 A

(43) Date of publication of application: 01 . 07 . 92

(51) Int. CI

H01M 6/16 H01M 10/40

(21) Application number: 02311271

(71) Applicant:

MITSUBISHI PETROCHEM CO LTD

(22) Date of filing: 19 . 11 . 90

(72) Inventor:

UE MAKOTO

(54) FIRE-RESISTANT ELECTROLYTE FOR LITHIUM **BATTERY**

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

(57) Abstract:

PURPOSE: To form electrolyte capable of showing fire-resistance while maintaining characteristic as a battery by using lower phosphoric ester consisting of a specific compound as solution or assistant solvent for electrolyte.

CONSTITUTION: Trialkyl phosphate represented in a formula I as lower phosphoric ester and monocyclic phosphate II and bicyclic phosphate III, where fellow alkyl groups are united mutually, are used as solution or assistant solvent for electrolyte. In the formulas, R₁-R₄ represents a straight chain or a branch alkyl group having the number of carbons 1-4, and R₁-R₃ can differ with each other. -(C)- represents straight chain or branch hydrocarbon, and (k), (l), (m) and (n) represent the number of carbons, and (k)=2-8 and (l), (m) and (n)=0-12 represent integers respectively. Thereby, solute of lithium salt is excellent in solubility, and is suitable for electrolyte of a lithium battery, and shows excellent fire-resistance.

$$\begin{bmatrix}
(C)_{1} - 0 \\
(C)_{2} - 0 - P = 0
\end{bmatrix}$$
(III)

⑲ 日本 閣特 許 庁 (JP)

① 特許出願公開

② 公 開 特 許 公 報 (A) 平4−184870

30lnt. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成4年(1992)7月1日

H 01 M 6/16 10/40

A A 8222-4K 8939-4K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

60発明の名称

リチウム電池用難燃性電解液

②特 願 平2-311271

②出 額 平2(1990)11月19日

@発 明 者

誠

茨城県稲敷郡阿見町中央8丁目3番1号 三菱油化株式会

社筑波総合研究所内

⑦出 願 人 三菱

三菱油化株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目5番2号

四代理人 弁理士津国 壁 外1名

明和書

1. 発明の名称

リチウム電池用難燃性電解液

2. 特許請求の範囲

リチウム塩を有機溶媒に溶解したリチウム電池 用電解液において、リン酸エステルを含んだ溶媒 を使用する難燃性電解液。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、リチウム電池に用いる電解液に関する。本発明によれば、安全性の高いリチウム電池 を得ることができる。

【従来の技術】 .

従来、リチウム電池には、電解液として、プロビレンカーポネート、マープチロラクトン、1.2ージメトキシエタンなどの単独又はこれらの混合溶媒に、過塩素酸リチウム、ホウフッ化リチウム、リンフッ化リチウム、トリフルオロメタンスルホン酸リチウムなどの溶質を溶解したものが使用されている。

[発明が解決しようとする問題点]

上記のリチウム電池は、非常に燃え易い溶媒を使用しているため、内部知絡等によって電池が破壊した際に、火花が電解液に引火して、機器を損傷したり、火災に至ることがあり得る。特に、近年、携帯用機器にリチウム電池が搭載されるようになり、リチウム電池の安全性はますます重要性を増し、社会問題と成りつつある。

[課題を解決するための手段]

本発明者は、低級リン酸エステルを電解液の溶 態あるいは動溶媒として利用することにより、電 池としての特性を維持しつつ、難燃性を示す電解 液を得ることに成功し、本発明を完成した。

すなわち本発明は、リチウム塩を有機溶媒に溶解したリチウム電池用電解液において、リン酸エステルを含んだ溶媒を使用する難燃性電解液を提供するものである。

本発明で使用するリン酸エステルは、下記の一般式で表わされるトリアルキルホスフェート (I)、アルキル基とうしが互いに結合した単環 式ホスフェート(Ⅱ)及び二環式ホスフェート (四)である。

$$\left| \begin{array}{c} (C)_{4} - 0 \\ (C)_{5} - 0 - P = 0 \\ (C)_{5} - 0 \end{array} \right|$$

(式中、R₁~R₄は炭素数 1~4の直無状又は 分枝状のアルキル基で、R₁~R₅は互いに異 なっていてもよい。- (C)-は、直鎖状又は分 枝状の炭化水素であり、k、 ℓ 、m、nは炭素数 を示し、k=2~8、 ℓ 、m、n=0~12の整 数である。)

具体例としては、一般式 (I) で表わされるリン酸エステルとしてトリメチルホスフェート、ジ メチルエチルホスフェート、メチルエチルプロピ

想性の高いリチウム電池が得られる。従来の電解 核に助溶薬として添加して難燃性を向上させるた めには、15重量%以上、好ましくは30重量% 以上使用すると、良好な難燃性が得られる。

上記のリン酸エステルを混合する溶媒としては、エチレンカーボネート、プロピレンカーボネート等のカーボネート 溶媒: ァープチロラクトン等のラクトン溶媒: 1.2-ジメトキシエタン、1.3-ジオキソラン、テトラヒドロフラン等のエーチル溶媒を例示することができる。

また、溶質としては、LiCeO。; LiBF。、LiPF。、LiAsF。、 LiCF。SO。、LiAeCe。等を例示する ことができる。

[実施例]

以下に実施例、比較例及び参考例を挙げて、本 発明をさらに具体的に説明する。

電解液の難燃性の評価法として、電解液を含浸 した紙の燃焼速度を採用した。引火点は、ペンス ルホスフェート、メチルジエチルホスフェート、 トリエチルホスフェート、トリプロピルホス フェート、トリブチルホスフェート:一般式 (II) で表わされるものとして、メチルエチレン ホスフェート、メチルトリメチレンホスフェー ト:ならびに一般式(III) で表わされるものとし

$$O = P = 0$$

$$O = P = 0$$

$$O = P = 0$$

及びトリメチロールエタンホスフェート等を例示することができる。これらの中でも、分子量の小さいリン酸エステルの方が、溶質を良く溶かし、電気伝導度が高いので好ましい。特にトリメチルホスフェートは、電気伝導度が最も高く、また、分子構造中のリン含有量が最も高いために、難燃性が大きくて引火しないので、最も好ましい。

上記のリン酸エステルの電解液に占める割合は、リチウム電池の要求性能によって異なるが、 溶媒を全量、リン酸エステルにした場合に最も難

キー・マルテンス密閉式試験器によって測定し

実施例 1

トリメチルホスフェートにLiBF。を1モル漁度溶解した電解液(25℃における電気伝導度5.6mS/cm)に、幅15mm、長さ320mm、厚さ40m、密度0.6g/cm³のマニラ紙を1分間遭し、3分間、垂直に吊下げて余分な電解液を除いた。このようにして電解液を含浸させたマニラ紙を、25mm間隔で支持針を有するサンプル保持台に水平に固定して、その一端にマッチで着火したところ、燃焼距離10mm以内でただちに消火した。

比較例1

マープチロラクトンにLiBF。をIモル濃度溶解した電解液(25℃における電気伝導度7.8mS/cm)に、実施例1と同じ条件でマニラ紙を浸し、同様の 火試験によって、300mm燃焼する時間より燃焼速度を求めたところ、燃焼速度は10mm/sであった。

特開平4-184870(3)

実施例2、3

実施例 1 において、溶媒をトリエチルホスフェート(実施例 2)、マープチロラクトンとトリメチルホスフェートとの重量比 1:1 の混合溶媒(実施例 3)に変えて、同様の看火試験を行った。いずれも高い難燃性を示した。

比較例 2

比較例1において、溶媒をプロピレンカーポネートに変えて、同様の試験を行ったところ、易燃性であった。

参考例1~7

参考例 1 として何も含複しないマニラ紙、参考 例 2~7 として溶媒のみを含浸したマニラ紙について、同様の着火試験を行った。

これらの着火試験の結果:ならびに各実施例、 比較例、参考例(参考例1を除く)試料の引火 点:及び各実施例、比較例試料の電気伝導度をま とめて表1に示す。

なお、表1では次の略号を使用した。

GBL: ャープチロラクトン

表』

No.		電解液又は溶媒	燃烧速度 V(mm/s)	引火点 fp (℃)	電気伝導度 (25°C) σ (mS/cm)
実施所	1	LiBF./TMP	0.	>150	5. 6
"	2	LiBF4/TEP	o.	113	5. 8
IJ	3	LiBF ₄ /GBL+TMP (1:1)	0*	103	8.0
比較多	1	LiBF ₄ /GBL	10	100	7.8 .
IJ	2	LiBF ₄ /PC	7	135	4.0
参考的	1	なし	11	-	· _
n	2	TMP	0+	なし	-
"	3	TEP	0*	113	-
v	4	TPP	0.	138	
"	5	TBP	0*	132	-
v	6	GBL.	20	96	_
"	7	PC	19	131	-

(注) ★:燃焼10=以内で消火

TMP:トリメチルホスフェート TEP:トリエチルホスフェート TBP:トリプチルホスフェート

PC :プロピレンカーポネート

[発明の効果]

本発明により、リチウム塩溶質の溶解性に優れ てリチウム電池の電解液に適し、かつ優れた難燃 性を示す電解液を得ることが可能になった。

本発明のリチウム電池用電解液は、安全性の高 いリチウム電池、とくに携帯用のリチウム電池の 電解液として用いられる。

持開平4-184870(4)

手統補正書

平成 2 年 12 月 20 日

許庁長官 植 松 敬 殿

- 事件の表示
 平成2年特許顕第311271号
- 発明の名称
 リチウム電池用業燃性電解液
- 3. 補正をする者 事件との関係 特許出願人 名称 三 妻 袖 化 株 式 会 社
- 4.代 理 人 住所 〒107 東京都権区赤坂2-10-8 第一値和ビル 氏名 弁理士 (7888) 韓 国
- 5. 補正命令の日付 目晃
- 6. 補正の対象 発明の評価な説明の棚
- 7. 補正の内容



方式 百

- I.発明の詳細な説明の個
- (1) 明細書1頁20行の後に、改行して、下記を挿入する。

「一方、難燃化剤として、酸化アンチモンやホウ酸亜鉛などの無機化合物ならびに分子中にリン又はハロゲンを含有する有機化合物などが知られている。しかし、電解液に難燃性を付与する際には、電気伝導率、使用電位範囲、使用温度範囲、電気伝導との間の適合性など、電解液としての基本的性能を妨げないを契となる。たとえば、上述の無機化合物やハロゲン化物は、ほとんどの場合固体物質であり、有機溶媒に不溶液媒として過失を低下させる。また一般に有機溶媒として使用されている塩化メチレンなどのハロゲン化炭化水素は、誘電率が低く、電気伝導率を低でして、電解液に使用する溶媒としては使用する溶媒としては使用する溶媒としては使用する溶媒としては使用する溶媒としては使用する溶媒としては使用する溶媒としては使用できない。」